

中部様式  
(調査事業)

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要 (全体)

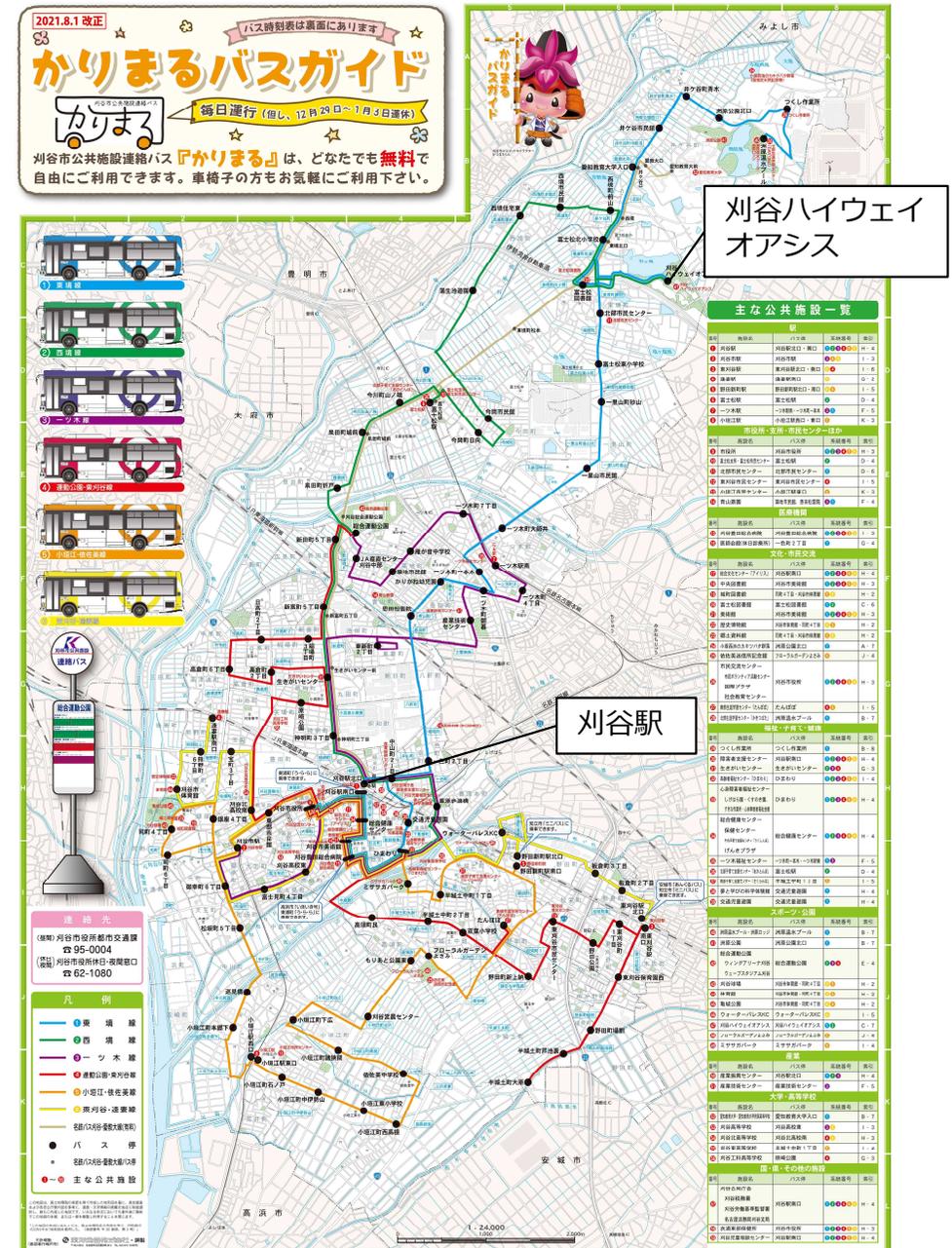
# 刈谷市都市交通協議会

平成23年1月13日設置

調査事業 (計画策定) 令和6年3月 地域公共交通計画策定予定

## 調査の背景および必要性

- 市中心部には自動車関連企業等が多数立地しており、朝夕のピーク時において**慢性的な渋滞**が発生していることから**バスの遅延**が生じている。また、高齢化の進展に伴い、高齢者が安全に移動できる交通環境や運転免許証を自主返納した後の移動手段の確保が課題となっている。
- 令和元年11月に実施した**利用者アンケート調査**において、「運行本数の少なさ」「乗車時間が長い」「バス停までの距離が遠い」等の意見をいただき、**更なる利便性の向上**等が求められている。
- 利便性向上のために、路線再編や新たな交通機能の導入、他市町への乗り入れ等**多岐にわたる検討**を行うとともに、現在無料で運行している**公共施設連絡バス**の有料化（受益者負担）も検討事項とし、抜本的な公共交通の見直しが必要となる。



## 実施した調査およびその結果明らかになったこと

以下3点より、「地域特性」「公共交通特性」「市民ニーズ」を整理し、公共交通ネットワークの検討を実施

| 事業内容   | 結果概要  |
|--|---|
| <p><b>アンケート(R3年度実施)の整理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象者：市民1,900人（16歳以上無作為）<br/>：バス利用者600人（6路線×100人）</li> <li>内容：日常生活の移動実態や公共交通（鉄道・バス・タクシー）の満足度・重要度、公共施設連絡バス利用実態等を質問</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民アンケート<br/>→回収率41.5%（788通）</li> <li>バス利用者アンケート<br/>→回収率40.7%（244通）</li> </ul> <p>P4～9参照</p> |
| <p><b>住民ワークショップ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象者：バス利用者、地区代表、女性の会（女性、子育ての実情）、包括支援センター職員（高齢者の実情）、相談支援事業所職員（障害者の実情）<br/>→様々な立場の方に参加いただき、多角的な意見交換を実施</li> <li>内容：中学校区（6学区×2回 計12回）ごとで実施<br/>→第1回（9月）・現在の移動状況 ・公共交通の今後<br/>第2回（12月）・再編方針</li> </ul> | <p>※現在分析中<br/>P10～11参照</p>  |
| <p><b>ビッグデータ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>携帯電話の位置情報を活用した移動の分析</li> <li>目的地となるエリアの滞在人口、及びその人口の出発地を町単位で取得</li> </ul>   | <p>※現在分析中<br/>P12参照</p>   |

# 実施した調査およびその結果明らかになったこと

## <富士松中学校区> ※アンケート結果から

### 【地域特性】

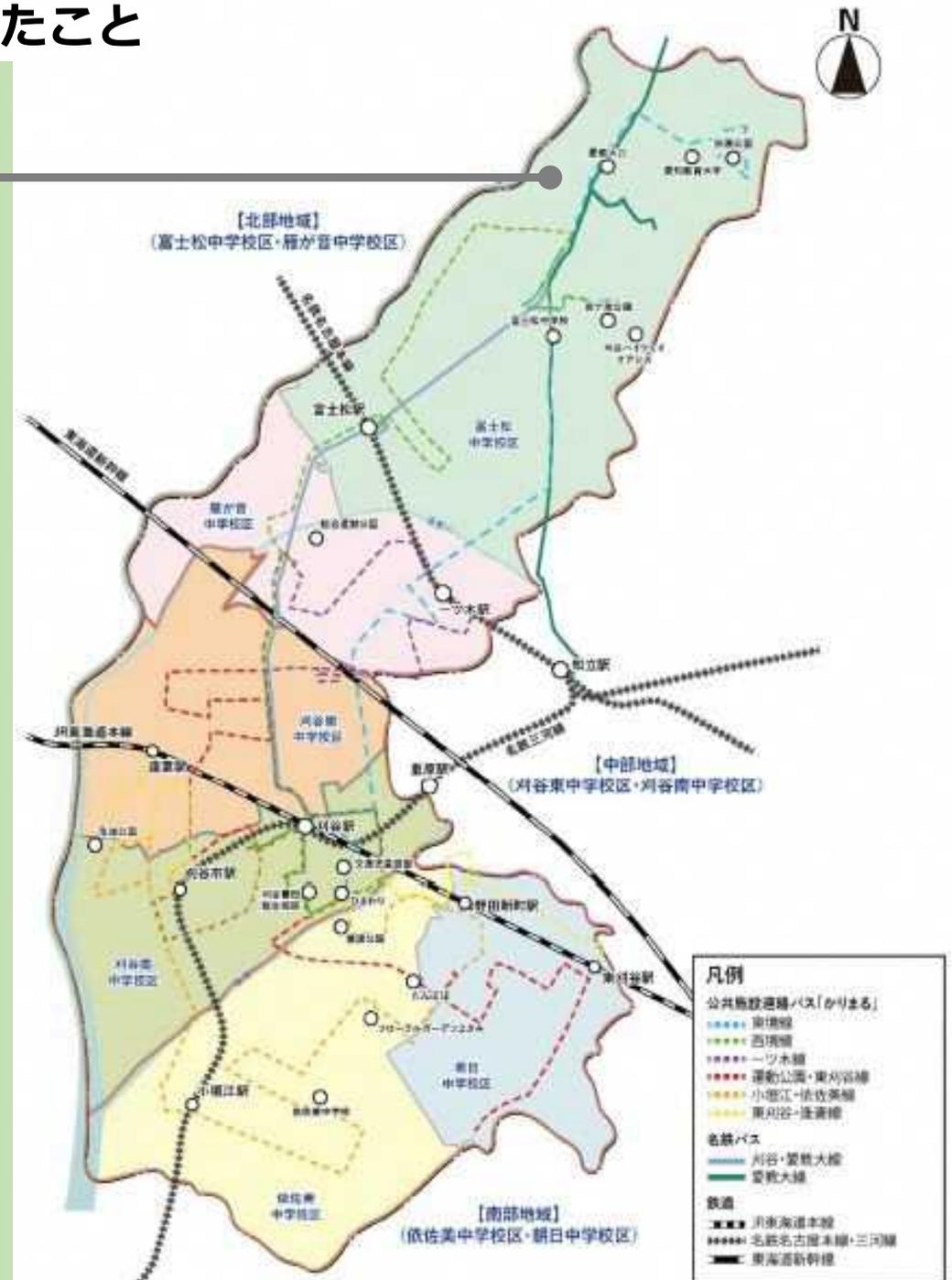
- **公共交通力バー率 58.8% (6位/6学区)** 市平均76.8%
- 高齢者比率 21.7% (1位/6学区)
- 免許返納意向 13.0% (6位/6学区)
- **南北移動で渋滞**

### 【公共交通特性】

- 名鉄名古屋本線 (富士松駅)
- 名鉄バス (刈谷愛教大線)
  - 市の補助路線であり、採算性の向上が必要
- **かりまる** (東境線・西境線)
  - 刈谷愛教大線と西境線が重複**
- **タクシーの営業所が遠い**
  - 営業所が刈谷南中学校区に所在
  - タクシーの満足度8.8%(5位/6学区)

### 【市民ニーズ】

- バス停間の**移動は学区内と市中心部に所在の刈谷駅**
  - 行先別割合：富士松30.6% 刈谷東28.6%
  - 刈谷南10.2% 南部2学区0%
  - 市外22.4%
- バスへの満足度が低いが、重要度は高い
  - 満足度14.8%(4位/6学区) 重要度53.0%(2位/6学区)
- **南北の移動の速達性が求められている**
  - バス移動時間の満足度15.7%(2位/6学区)
  - 不満度26.1%(1位/6学区)



## 実施した調査およびその結果明らかになったこと

## &lt;雁が音中学校区&gt; ※アンケート結果から

## 【地域特性】

- 公共交通カバー率 71.7% (5位/6学区)
- 高齢者比率 16.0% (6位/6学区)
- 免許返納意向 30.0% (2位/6学区)
- 学区内に大型小売店がない**
- 狭小道路地域あり** (泉田町、一ツ木町鵜島等)

## 【公共交通特性】

- 名鉄名古屋本線 (一ツ木駅)
- 名鉄バス (刈谷愛教大線)
- かりまる (東境線・西境線・一ツ木線・運動公園東刈谷線)

## 【市民ニーズ】

- バス停間の**移動需要は市中心部に所在の刈谷駅**  
→行先別割合：雁が音3.9% 刈谷東62.7%  
刈谷南27.5% 南部2学区0%  
→雁が音中学校区内に大型小売店がない。
- バス利用率が最も高い学区だが、満足度が低い  
→バス交通分担率7.4% (1位/6学区)  
満足度14.7% (6位/6学区)
- 市中心部への移動の速達性が求められている**  
→バス移動時間の満足度7.4%(6位/6学区)



## 実施した調査およびその結果明らかになったこと

### ＜刈谷東中学校区＞ ※アンケート結果から

#### 【地域特性】

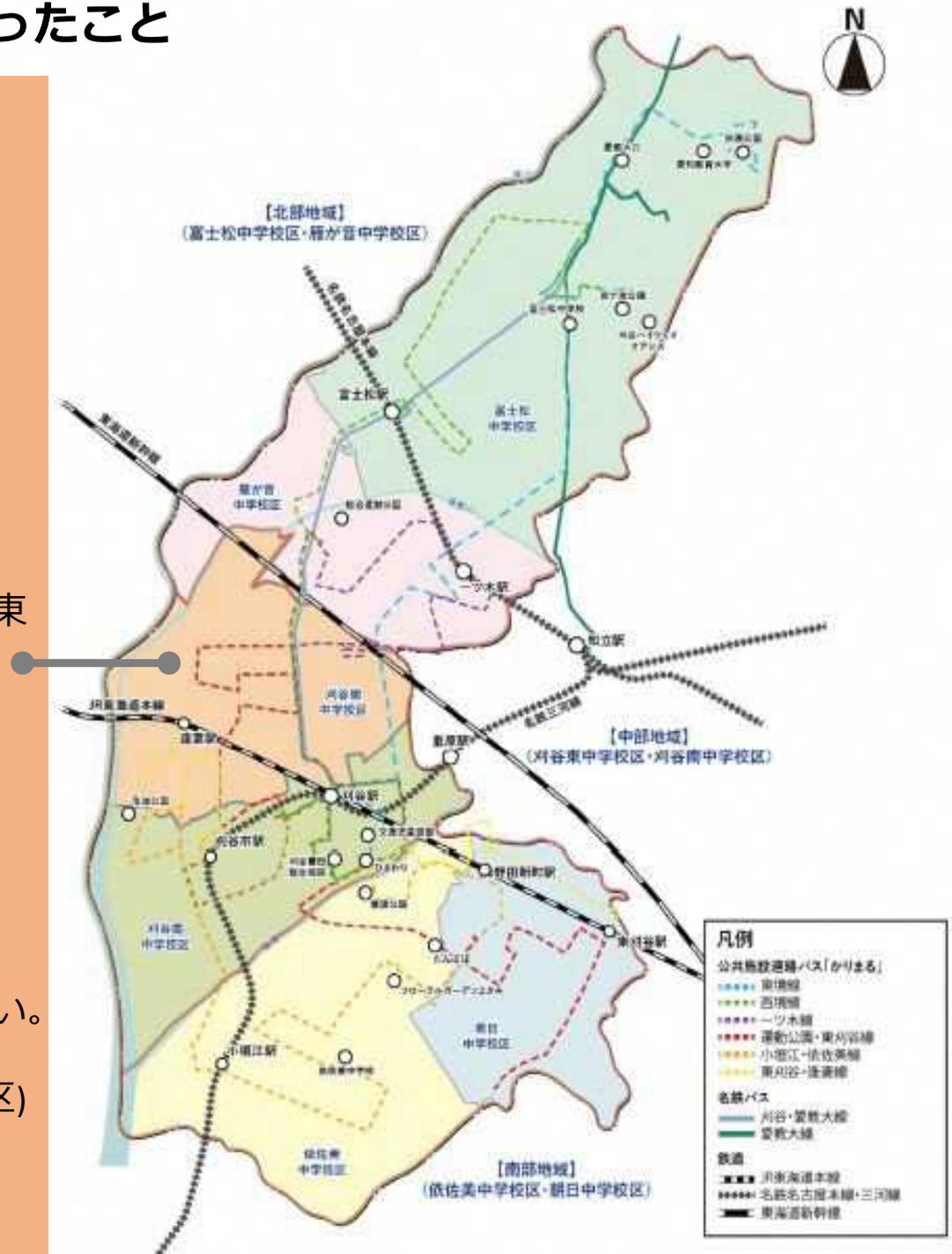
- 公共交通力バー率 76.0% (4位/6学区)
- 高齢者比率 18.1% (4位/6学区)
- 免許返納意向 27.8% (3位/6学区)
- 自動車関連企業や**商業施設等が多く立地**

#### 【公共交通特性】

- J R 東海道本線 (逢妻駅・**刈谷駅北口**)
- 名鉄バス (刈谷愛教大線)
- かりまる (東境線・西境線・一ツ木線・運動公園東刈谷線・東刈谷逢妻線)
- タクシーへの満足度が高い12.5% (1位/6学区)

#### 【市民ニーズ】

- バス停間の**移動需要は市中心部に所在の刈谷駅**  
→行先別割合：刈谷東37.5% 刈谷南37.5% 南部2学区0%
- バス利用率が最も低い学区で、満足・重要度も低い。  
→バス交通分担率3.7%(6位/6学区)  
満足度14.7%(6位/6学区) 重要度47.0%(6位/6学区)



## 実施した調査およびその結果明らかになったこと

### <刈谷南中学校区> ※アンケート結果から

#### 【地域特性】

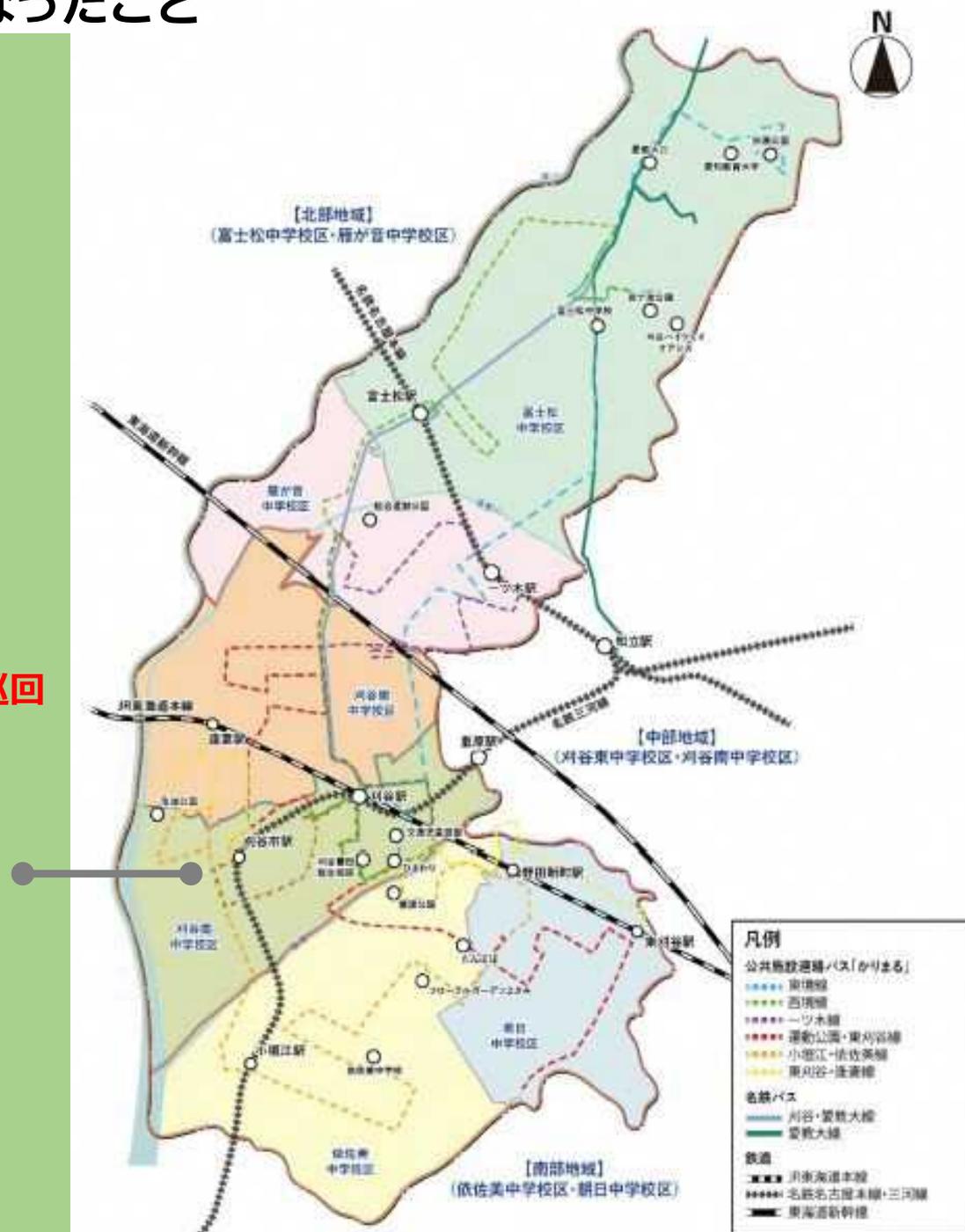
- **公共交通カバー率 89.3% (1位/6学区)**
- 高齢者比率 18.0% (5位/6学区)
- 免許返納意向 37.5% (1位/6学区)
- 商業施設や公共施設が多く立地
- 自動車分担率 57.2% (6位/6学区)
- **徒歩・自転車分担率 18.8% (1位/6学区)**

#### 【公共交通特性】

- J R 東海道本線 (刈谷駅南口)
- 名鉄三河線 (刈谷駅・刈谷市駅)
- **かりまる (全路線)**
- **刈谷駅、総合病院、市役所等中心部主要施設を巡回**
- 他市町 (高浜市・東浦町) バス乗り入れあり
- **タクシー営業所所在**

#### 【市民ニーズ】

- バス停間の**移動需要はほとんど学区内**  
→ 行先別割合：刈谷南55.0% 刈谷東8.3%  
雁が音11.7% 依佐美11.7%
- **公共交通の満足度が高い**  
→ 鉄道42.8%(1位/6学区) バス21.7%(1位/6学区)  
タクシー12.3%(2位/6学区)
- 公共交通の重要度が高い。  
→ 鉄道42.8%(1位/6学区) バス21.7%(1位/6学区)  
タクシー12.3%(2位/6学区)



## 実施した調査およびその結果明らかになったこと

### <依佐美中学校区> ※アンケート結果から

#### 【地域特性】

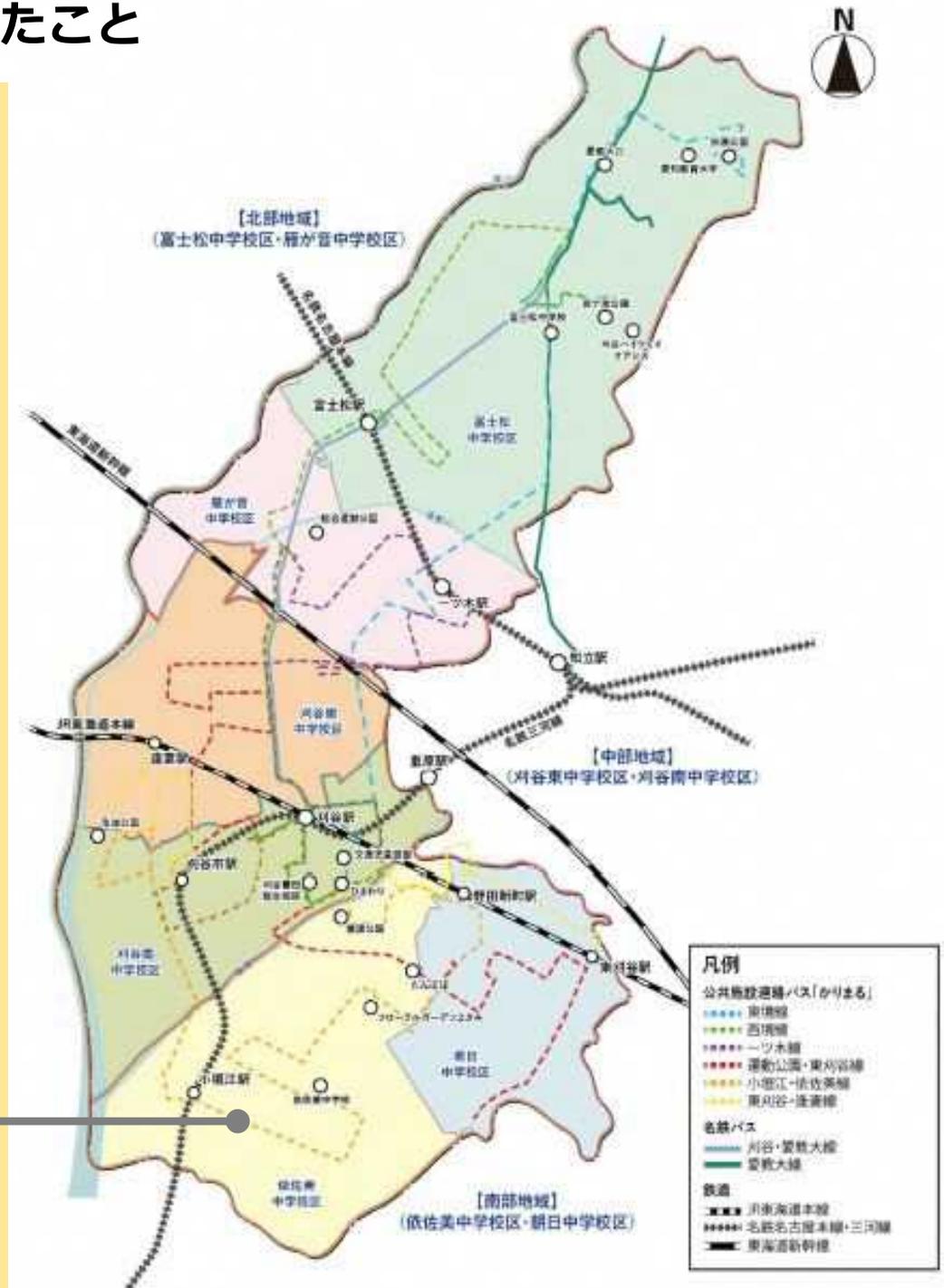
- 公共交通力バー率 78.3% (3位/6学区)
- 高齢者比率 21.2% (2位/6学区)
- 免許返納意向 16.7% (5位/6学区)
- 学区内に大型小売店がない**
- 狭小道路地域あり** (小垣江町他)

#### 【公共交通特性】

- 名鉄三河線 (小垣江駅)  
→市中心部に位置する刈谷駅へ移動
- かりまる** (小垣江依佐美線・運動公園東刈谷線)  
→市中心部に位置する**刈谷駅への移動に時間を要す**

#### 【市民ニーズ】

- バス停間の**移動需要はほとんど刈谷南学区**  
→行先別割合：刈谷南85.3% 依佐美14.7%  
朝日0% 北部2学区0%
- 市中心部への移動の速達性が求められている**  
→バス移動時間の満足度12.5%(4位/6学区)  
不満足21.3%(2位/6学区) 重要度50.0%(3位/6学区)



## 実施した調査およびその結果明らかになったこと

## &lt;朝日中学校区&gt; ※アンケート結果から

## 【地域特性】

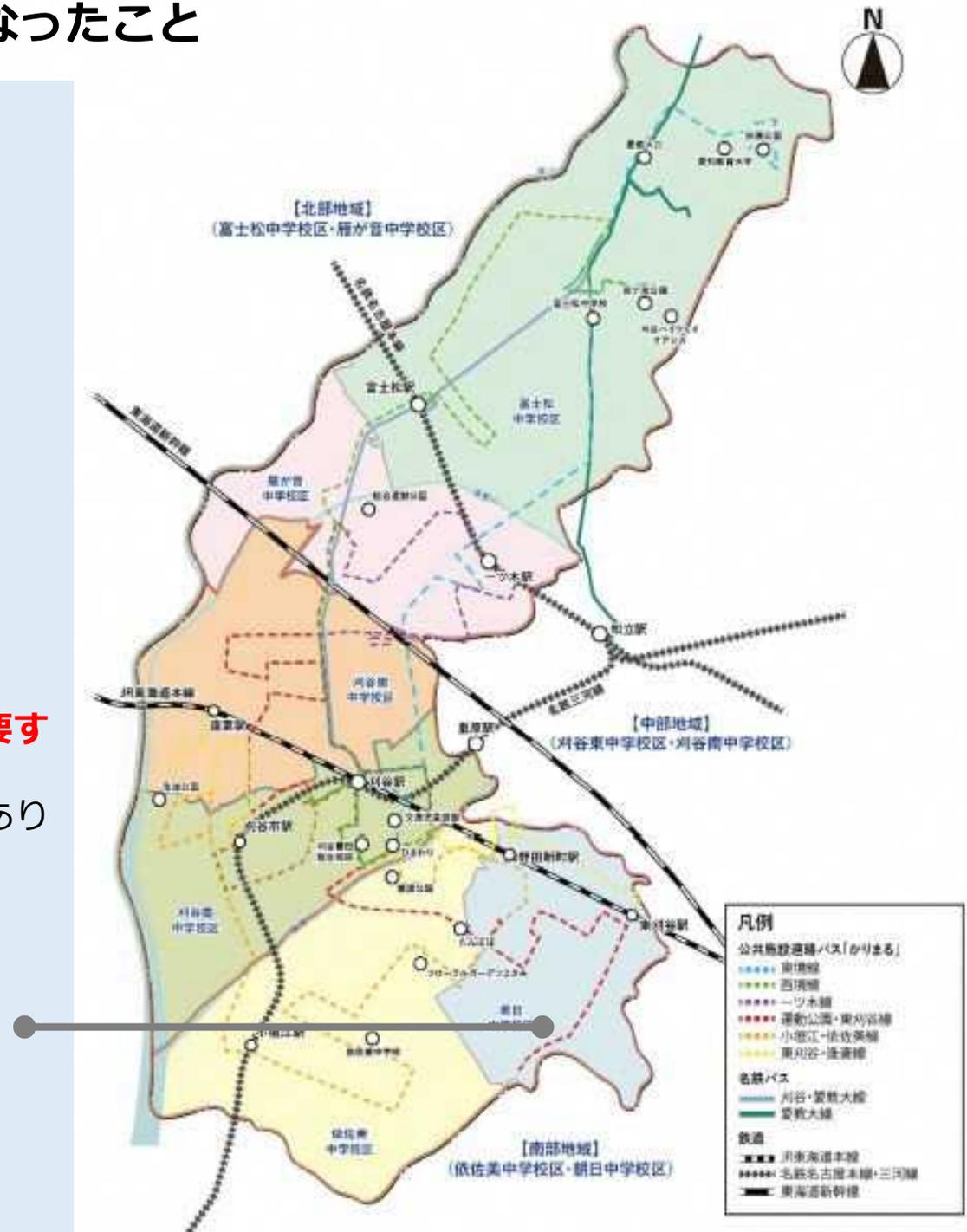
- 公共交通力バー率 86.8% (2位/6学区)
- 高齢者比率 19.0% (3位/6学区)
- 免許返納意向 24.1% (4位/6学区)
- 狭小道路地域あり** (野田半城土他)
- 自動車分担率 68.8% (1位/6学区)**
- 商業施設等が多く立地

## 【公共交通特性】

- JR東海道本線 (野田新町駅・東刈谷駅)  
→市中心部に位置する刈谷駅へ移動
- かりまる** (運動公園東刈谷線・東刈谷逢妻線)  
→市中心部に位置する**刈谷駅への移動に時間を要す**
- タクシーへの満足度が低い 7.2% (6位/6学区)  
→県道48号線等、営業所から学区まで渋滞箇所あり

## 【市民ニーズ】

- バス停間の**移動需要はほとんど刈谷南学区**  
→行先別割合：刈谷南73.8% 朝日14.3%  
依佐美9.5% 北部2学区0%
- 市中心部への移動の速達性が求められている**  
→バス移動時間の満足度7.56%(6位/6学区)  
不満度15.1%(5位/6学区)

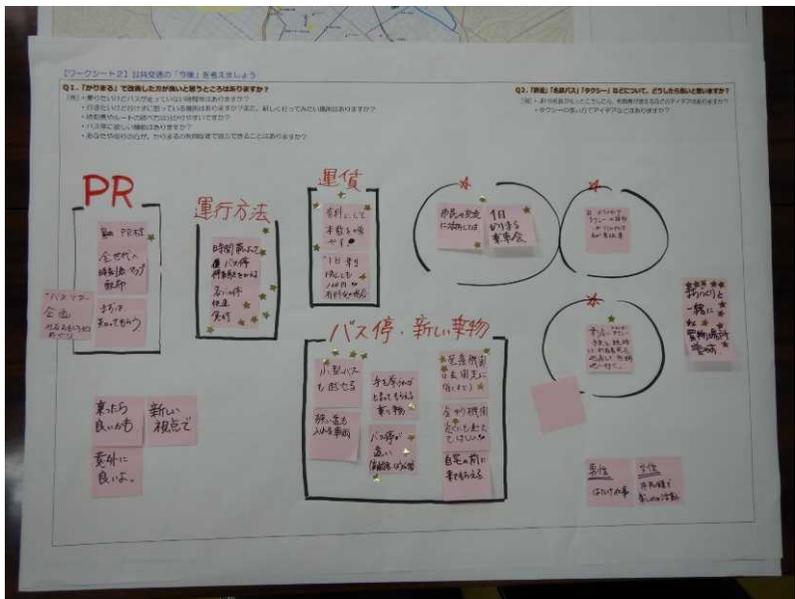


# 実施した調査およびその結果明らかになったこと

## 住民ワークショップ ※現在分析中 第1回目の様子

① 普段の外出先を地図上にシールで貼る  
凡例 ● 買い物 ● 通勤 など

② 公共交通の今後について意見出し



## 実施した調査およびその結果明らかになったこと

## 住民ワークショップ ※現在分析中 第1回目の結果概要

## 日常の移動傾向

各中学校区とも、地域内及び刈谷駅周辺への移動需要が多く見受けられる。

## 主な意見

## かりまるの改善

- バス停の新設
- 運行本数が少ない（増便）
- ベンチ、上屋など待合環境の充実
- 利便性が向上するなら有料化も良い
- 無料はありがたい。有料化なら交通弱者への配慮
- 遅延を見越したダイヤ、電車との乗り継ぎがスムーズなダイヤ

## 利用促進

- 自動車免許返納者へのサービス
- 高齢者外出促進、孫と一緒に利用できるイベント
- バスロケーションシステムを知らない市民もいるため、アピール

## かりまる以外の交通

- 既存公共交通の充実に加え、地区内を巡回する交通、小型バス、乗り合いタクシーの導入
- 自転車の活用

## 今後の取組み

- 東西軸は鉄道、南北は幹線バス、各地域に拠点を設け循環線の運行
- 障害者への理解、配慮
- 安全な自転車道整備

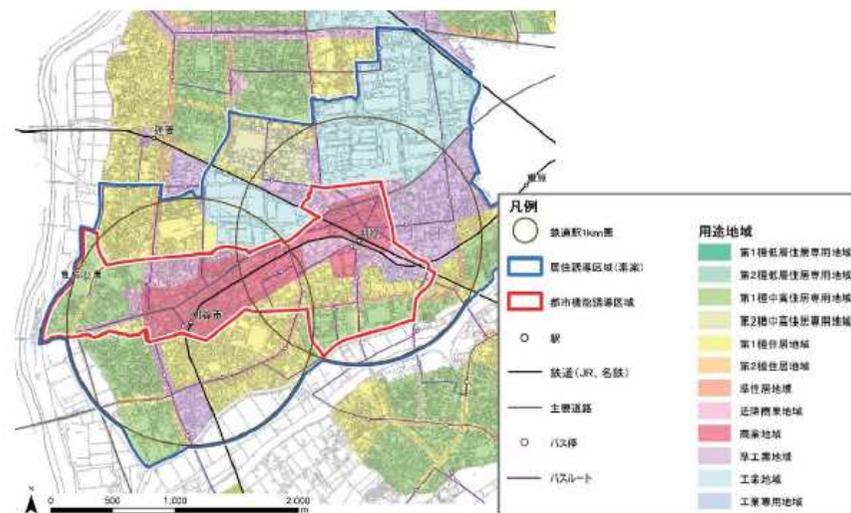


## 実施した調査およびその結果明らかになったこと

## 【上位計画】

## ○立地適正化計画

- 都市拠点や地域拠点に都市機能や生活機能の誘導を図り、これら拠点を公共交通で結ぶことで、「機能集約型都市構造」の構築を目指す。



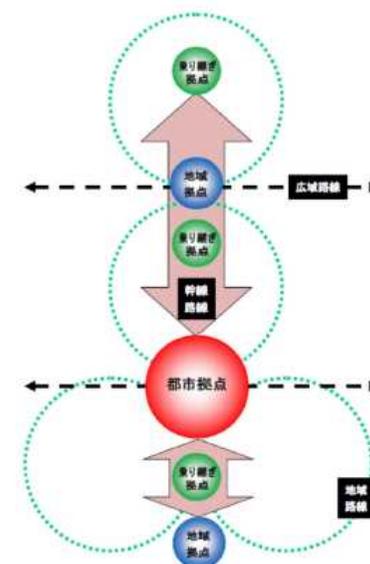
■都市機能誘導区域と居住誘導区域

資料：刈谷市立地適正化計画

## コンパクトシティ+ネットワーク

## ○都市交通戦略

- 産業・交流・生活・環境の4つの視点から、持続可能な都市交通体系を目指し、「体系的で利便性の高い公共交通ネットワークの形成」を位置付けている。



■公共交通体系ネットワークイメージ

資料：刈谷市都市交通戦略

調査結果の地域公共交通計画への反映

＜刈谷東・刈谷南＞

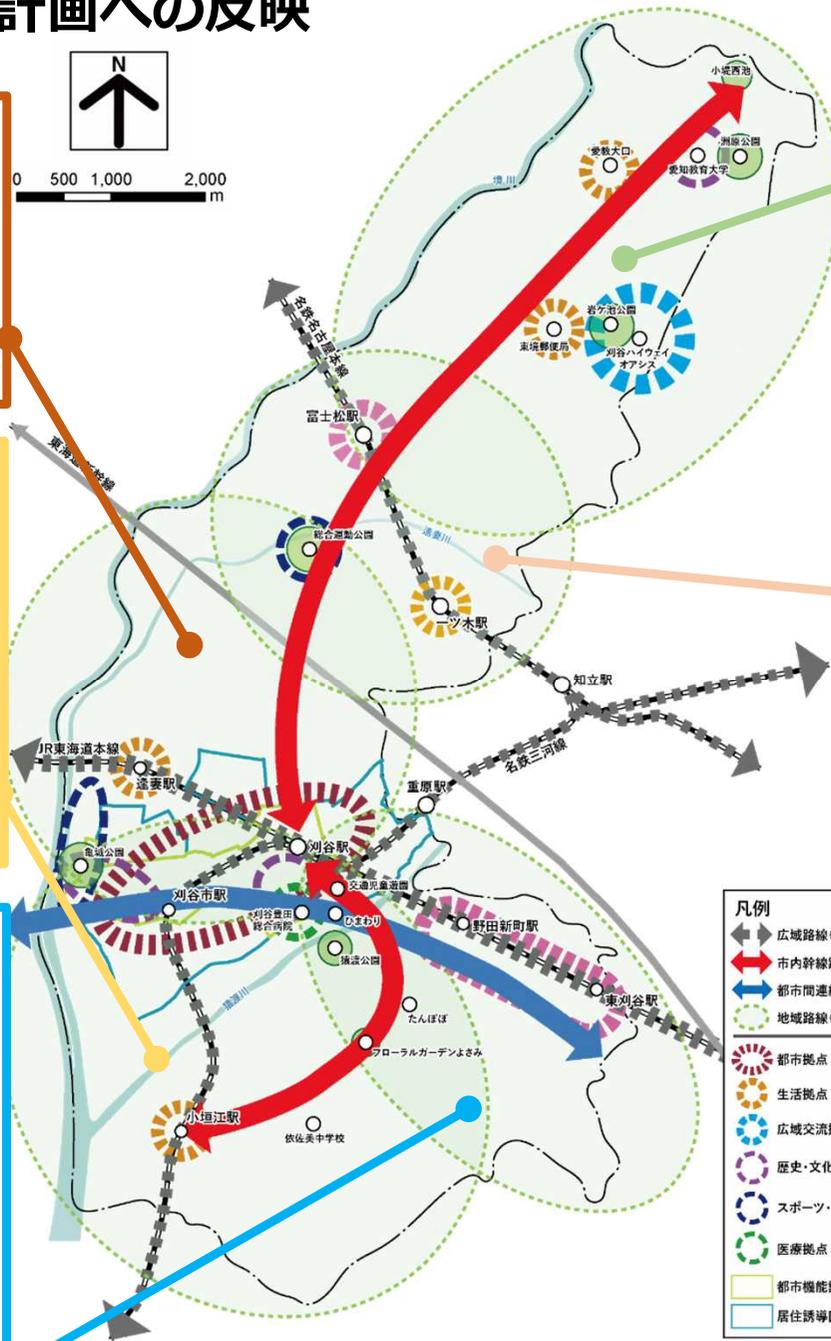
- 刈谷駅を含む地域内を移動する地域路線の設定
- 交通機関の最適な機能分担の継続、検討

＜依佐美＞

- 地区の拠点となる小垣江駅と市中心部へ繋ぐ速達性を重視したバス幹線路線の設定
- 狭小道路等地域の特性を踏まえた移動手段の検討

＜朝日＞

- 地区の拠点となる野田新町駅・東刈谷駅と市中心部へ繋ぐ速達性を意識した地域路線の設定
- 狭小道路等地域の特性を踏まえた移動手段の検討
- 公共交通(鉄道・バス・タクシー)の利用促進策の検討



＜富士松＞

- 南北移動の速達性と民間バス路線との役割を整理したバス幹線路線の設定
- 地域内移動需要及びカバー率を補う移動手段の検討

＜雁が音＞

- 地区の拠点となる富士松駅・一ツ木駅と市中心部へ繋ぐ速達性を意識した地域路線の設定
- 狭小道路等地域の特性を踏まえた移動手段の検討

凡例

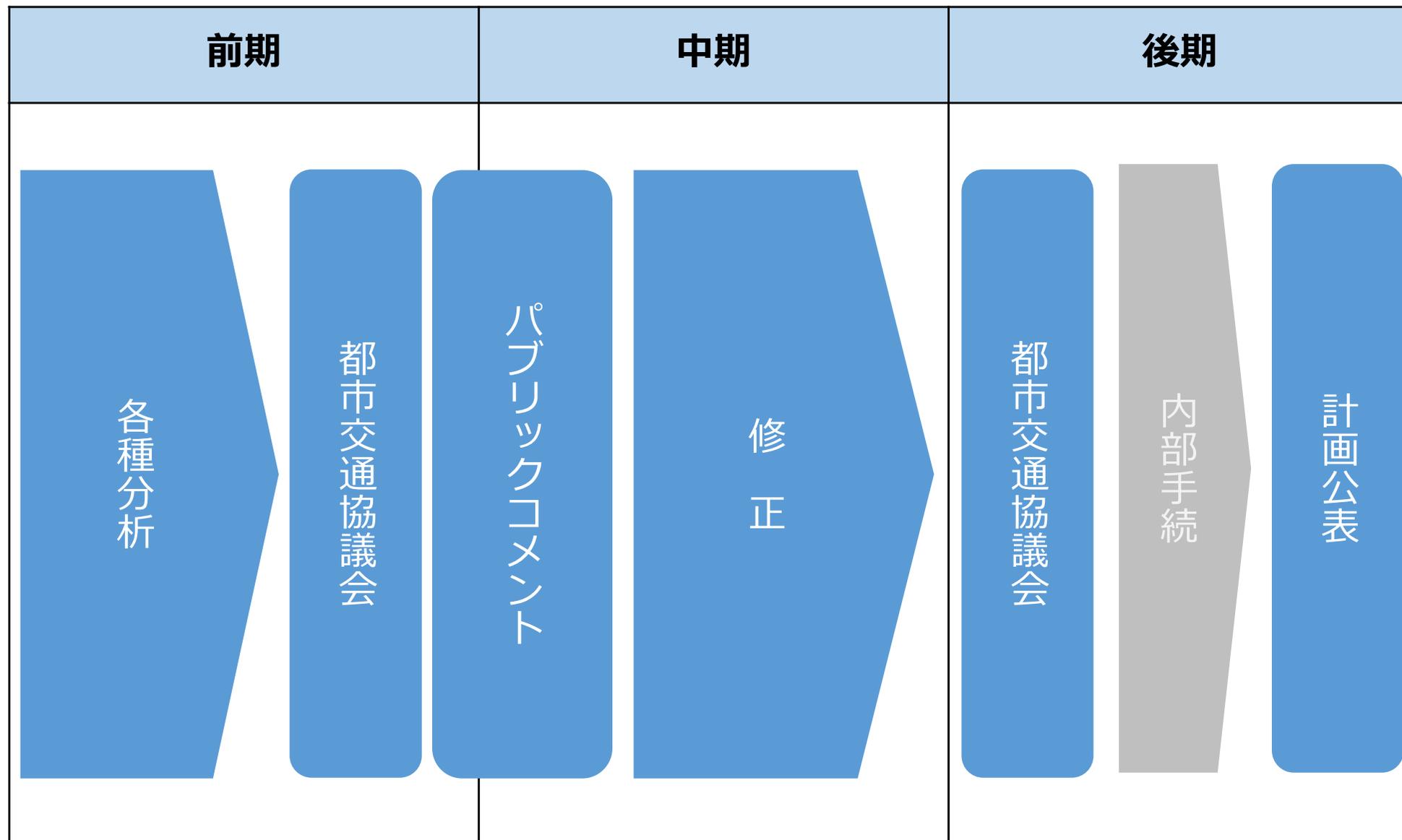
|    |                    |
|----|--------------------|
| ◀▶ | 広域路線(広域公共交通軸)      |
| ↔  | 市内幹線路線(市内南北公共交通軸)  |
| ↔  | 都市間連絡路線(市内東西公共交通軸) |
| ⋯  | 地域路線(生活交通軸)        |
| ●  | 都市拠点               |
| ●  | 地域拠点               |
| ●  | 生活拠点               |
| ●  | 広域交流拠点             |
| ●  | 歴史・文化・教育拠点         |
| ●  | スポーツ・レクリエーション拠点    |
| ●  | 医療拠点               |
| ●  | 緑の拠点               |
| □  | 都市機能誘導区域           |
| □  | 居住誘導区域             |

他市町間移動  
安城市、高浜市  
知立市、東浦町  
豊明市、

※公共交通ネットワークイメージ

調査結果の地域公共交通計画への反映

R 5 年度スケジュール



| 年度        | 直近の二次評価結果   | 事業評価の反映状況<br>(具体的対応内容)   | 今後の対応方針  |
|-----------|---|--|--|
| 令和4年2月17日 | <p>地域公共交通計画の策定にあたり、地域特性、公共交通特性、市民ニーズ、公共交通に関する既往調査結果も含めて必要な分析を行うこと。</p>              | <p>● 市民・バス利用者アンケート（R3実施）を中学校区（地域）ごとにクロス集計</p> <p>→ ・ 地域特性<br/>・ 公共交通特性<br/>・ 市民ニーズ を分析</p> | <p>● アンケートに加え、住民ワークショップ、ビッグデータを活用</p> <p>→ 分析を継続</p>   |
|           | <p>通勤・通学・通院等、市民や来訪者の足の確保に向けて、持続可能な地域公共交通の将来像を描き、民間路線バス、現行の公共施設連絡バスの機能分担を整理すること。</p> | <p>● //</p> <p>→ ・ 地域特性<br/>・ 公共交通特性<br/>・ 市民ニーズ に適した新たな公共交通ネットワークを検討</p>                  | <p>● //</p> <p>→ 公共交通ネットワークの検討継続</p> <p>→ ネットワークに適した交通機能の分担を整理</p> <p>(公共施設連絡バス、民間路線バス、鉄道、タクシー、新たな交通機能等)</p> |

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

令和5年1月23日

協議会名: 刈谷市都市交通協議会

| ①事業の結果概要  | ④事業実施の適切性   | ③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針  |
|---|---|---|
| <p>【事業内容及び結果概要を記載】</p>  | <p>A・B・C評価</p> <p>【事業が適切に実施された(されている)かを記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、実施されなかった事項及び理由等記載】</p>                                  | <p>【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】</p>   |
| <p>【事業内容】<br/> <b>地域公共交通計画(案)の作成</b><br/>         令和3年度に作成した刈谷市地域公共交通計画(素案)を基に、都市交通協議会、専門部会及び策定部会等からの意見を踏まえるとともに、別途実施される刈谷市公共施設連絡バス運行計画検討業務におけるワークショップの結果等を踏まえ、地域公共交通計画(案)の作成を行う。</p> <p>【結果概要】<br/>         令和3年度に実施したアンケートを中学校区ごとに整理し、地域特性や公共交通特性、市民ニーズを把握した。<br/>         住民ワークショップ(地区長・公民館長、バス利用者、女性の会、包括支援センター職員、相談支援事業所職員を対象)を実施し、移動に関する地域の課題やニーズを把握した。</p> | <p>A</p> <p>令和3年度に実施したアンケートを中学校区ごとに整理を行い、それに加えて住民ワークショップ等から各中学校区ごとの移動に関する課題やニーズを把握することで、地域に適した公共交通ネットワークの検討を行うことができた。</p> | <p>【補助対象事業名】<br/>         ・地域公共交通調査事業(計画策定事業)</p> <p>【事業内容】<br/>         ・刈谷市地域公共交通計画修正業務委託</p> <p>【実施時期】<br/>         ・令和4年7月11日～令和5年3月24日</p> |

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年1月23日

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 協議会名:                       | 刈谷市都市交通協議会  |
| 評価対象事業名:                    | 地域公共交通調査事業(計画策定事業)  |
| 地域の交通の目指す姿<br>(事業実施の目的・必要性) | <p>平成31年4月に利便性向上等を目的とした刈谷市公共施設連絡バスの路線改編を実施したが、令和元年11月に実施した利用者アンケート調査において、「運行本数が少ない」「目的地への乗車時間が長い」「自宅や目的地からバス停までが遠い」といった不満の意見もいただいております。更なる利便性向上のためには、公共施設連絡バスの路線改編、新たなデマンド交通の導入、鉄道との連携、他市町への乗り入れなど、多岐にわたる検討を行い、また、現在無料運行している公共施設連絡バスの有料化(受益者負担)も一検討事項とし、抜本的な公共交通の見直しが必要となる。</p> <p>抜本の見直しを行った上で、より利便性の高く、持続可能な公共交通を構築することを目的として、上位計画及び関連計画との整合を図りながら、地域公共交通計画を策定する。</p> |